

グローバルニッチを目指す マグネシウムダイカストのリーディングカンパニー

同社は、マグネシウムダイカストの中核技術を強みに、軽さ、薄さ、精密さという顧客ニーズに対応した軽量化部品のソリューションを提供している。一貫生産体制と独自技術を駆使し、電動化が進む自動車や精密機器分野など、多方面で採用されている。中国、タイ、マレーシアに生産拠点をもち、世界同一高品質の提供、マグネシウムの環境有意性の提供等、グローバルニッチ企業としての存在感を高めている。長年にわたり、性別、人種、年齢などを超えた多様な人材登用を行い、ダイバーシティ経営を実践している。

所在地	大阪府八尾市山賀町六丁目82番地2	設立	1975年
電話/FAX	072-928-0212/072-928-0213	資本金	19,506万円
URL	https://www.stgroup.jp/	従業員数	62人
代表者	代表取締役社長 佐藤 輝明		



多種多様で高品質のマグネシウム製品を生み出す独自技術と一貫生産システム

同社は、環境性能に優れた次世代のキーマテリアルであるマグネシウム合金の特長をいかし、「より軽く、薄く、高精度なマグネシウムダイカスト製品をつくるスペシャリスト集団」である。高度な独自技術を駆使し、金型設計、鋳造、機械加工、仕上加工まで、一貫生産体制を構築している。素材の特性を最大限引出した付加価値の高い製品は、多くの分野で使用されている。特筆すべき技術は、①1次加工の独自技術:「金型開発の流動解析技術」②2次加工技術:「防爆技術」と「自動化技術」である。



一貫生産体制

国内外のどこの拠点からでも同じ高品質を実現、顧客満足と売上増を達成

2006年に中国(2拠点)、2011年にタイ、2021年にはマレーシアに進出し、日系の現地法人等を中心に取引を拡大した。日本を要素技術(金型開発、2次新加工法開発)開発の拠点としつつ、海外拠点にも積極的に技術展開し、国内外を問わず、高品質により、顧客満足を提供する体制を整備した。2020年度から開始したタイでの自動車部品事業は、こうした取組の成果である。さらなる、グローバル体制の進化に向けて、2021年、新たに一体的な生産等管理システムを導入した。



タイ工場

環境にやさしいマグネシウムの特長をいかした付加価値の提供と多様な取組

環境対応と性能向上を両立できるマグネシウム素材を活用した事業は、SDGsの理念にも沿った付加価値の高い製品を開発できる。BtoB事業では、「より薄肉化、軽量化に加えて複合化」を推進し、BtoC事業では、「ユーザーのよりよい生活を実現」をコンセプトに、ユーザーフレンドリーな同社商品をECサイトで提供する。その他、AIを活用した自動外観検査装置による生産性の向上、従業員のやる気を引き出す、自主性を重んじた人材育成等、多様な取組を実践している。



マグネシウムダイカスト